



秋の散歩道 C. シンポジウムⅡ

日時：10月25日（土）15時～17時

会場：群馬大学保健学科新棟 1 階中講義室



詳細はこちら

https://www.health.gunma-u.ac.jp/?page_id=10759

テーマ：「スポーツ現場における医師・理学療法士の関わり」

座長：山路雄彦：群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学准教授

1) 「野球：成長期野球選手を怪我から守ろうー私たちの取り組みー」

群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学教授 田鹿毅

けがなく楽しくスポーツ（野球）を続けられる選手ファーストの環境は、未来ある子供たちにとって非常に重要です。群馬大学地域貢献事業として行っている成長期スポーツ障害検診、高校野球投手メディカルチェックの取り組みをお話します。



2) 「バスケットボール：B. LEAGUEにおける外傷予防の取り組みとセルフコンディショニング」

群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学教授 小林匠

近年、日本のバスケットボール熱はどんどん高まってきていますが、バスケットボールではケガが絶えません。本講演では、B. LEAGUEにおいて行われている外傷予防に対する取り組みと実際の現場で行われているセルフチェック、コンディショニングの方法についてご紹介します。



3) 「競泳競技：ジュニア世代に対する障害予防とコンディショニング」

群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学助教 加藤大悟

競泳選手は使い過ぎによる障害が多いため、成長期のジュニア世代では日々のコンディショニングが重要です。本講演では、群馬県・日本水泳連盟で理学療法士の視点でどのように活動をしてきたかをご紹介します。



皆様のご来場を心よりお待ちしております。

どうぞお気軽にお越しください。

事前登録はこちらから：<https://forms.gle/VVyofM9fdVuYUe5r5>